

御宿

O N J U K U

平成13年

新春号

2001年 第448号
千葉県御宿町役場



— 新しい世紀の幕開け —

年頭所感

透明な行政運営を心がけ 輝きに満ちた町づくり を推進します



御宿町長 井上 七郎

皆様、明けましておめでとうござい
ます。

新しい二十一世紀の幕開けをご家族
おそろいでお迎えのことと、お慶び申
し上げます。

二十世紀は激動の世紀、二十一世紀
は共存の世紀といわれますが、わが国
経済も「ゆるやかなる景気回復」とは
言うものの、国民には、全くその気配
を感じることもないまま、未だ長くて
暗いトンネルから抜け出せずにおりま
す。

今までは絶対安全といわれていた銀
行、ゼネコン、証券会社、デパートな
どの倒産もけつして珍しくない昨今で
あります。

本年度末の赤字国債の発行残高は、
百七十七兆円で、景気対策など、国民
の暮らしに直結した政策に当てるべき
血税が、借金利息支払のために毎日二
百八十五億円も消えてゆく計算である
と新聞報道されております。そのしわ
寄せが地方財政を圧迫することはさけ
られません。

我が御宿町におきましても、財政状
況は例外ではなく、一般会計予算と起
債総額とがほぼ、きつこうした厳しい
状況にあります。

このような状況下にありますけれども、
やるべきことは、しっかりとやっつい
かなければなりません。このためには、
平成十三年度を初年度とする御宿町総

合計画に、皆様の声を反映させるとと
もに、しっかりとした財政の裏付けを
行い、計画的な行政運営を行う必要が
あります。

なければならぬ

ものを最優先

私は、公約でも申し上げてまいりま
したが、「あつたらしいな」の予算配
分ではなく、「なければならぬ」も
のを最優先してまいります。

例えば、ゴミ処理場は、ダイオキシ
ンの排出基準の強化にともない、平成
十四年度の厚生省ガイドラインをクリ
アし、町民の健康管理に努めてまいり
ます。

また平成十七年度には、さらに厳し
い基準値が要求されます。広域ゴミ処
理施設の建設は、平成十九年度を目標
に、夷隅郡市一市五町で取り組むこと
となつております。それまでの期間は、
町のゴミは町で始末していかねばなり
ません。地域住民の皆様のご理解をい
ただきながら、一日も早い完成をめざ
してまいります。

次に、町民ニーズの最も多い火葬場
建設については、B&G海洋センター
後背地の広くて明るい場所に建設すべ
く、設計作業をすすめてまいります。

また、教育施設の整備については、
老朽化の激しい中学校の建設を最優先



とし、現在の学校用地の後背地を有効利用することにより、広いグラウンドを有し、町民も利用できる機能的な学校建設のために、厳しい財政事情ではありますが、建設準備金の確保に努めてまいります。

そのほか、当然のことながら、観光を軸にした農林水産業、商工業の保護

育成に努力してまいります。

また、県下有数の高齢化比率の高い御宿町の現状を直視し、公共施設のバリアフリーはもとより、家庭内のバリアフリー対策への配慮も視野に入れてまいります。

少子高齢化対策、福祉対策等は、各担当課とも十分に協議を重ね、対象者

お一人お一人の現状に即した行政サービスを検討してまいります。

コスト感覚を持つて

そのほか、私の長い企業人としての経験をもとに、町民の皆様からとかく非難されがちだった町職員のお客様に



御宿町議会議長 貝塚 嘉軒

新年のごあいさつ

町民生活の安定に向けた 各種施策を推進

運営につきまして格別なるご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。
二十一世紀の扉が開かれ、我が御宿町も井上町長を迎え、新しい時代が到来しました。
しかしながら町政をとりまく環境は、

これから提案される二十一世紀の御宿町のあるべき姿、すなわち御宿町の将来ビジョンであります御宿町基本構想を基本に、各種施策を強力に推進いたして参るとともに、町議会に与えられました町民の皆さまから
の信託とご期待に添うべく、懸命な努力をいたす所存
であります。

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた平成十三年の新春を迎え、御宿町議会を代表して心よりお慶びを申し上げます。

皆さま方には、常日頃から町政

引き続きで厳しい状況下にあります。

経済、社会環境、特にごみ処理問題、高齢化、情報化への対応など、町民生活の安定のために行政における課題は山積いたしておるところでございます。こうした中において、我々議員一同、

多幸をお祈りいたしまして、新春のご挨拶といたします。

平成十三年一月

御宿町議会議長

貝塚 嘉軒

対する対応等も、職員の意識改革を行い、町民の皆様の血税をお預かりする責任と自覚とコスト感覚を持つて、誰でも、いつでもお気軽においでいただけるコミュニティの場として、お役所感覚のない、町民と同じ目線で対応のできる職員の育成に努めます。
新しい世紀の幕開けに、いま町民が何を求めているか、町をどの方向に向けるべきかを模索しつつ、網代湾の豊かな自然のふところ、御宿にしかない、御宿にしか成しえない、ゆつたりと、しつとりと時が流れてゆく、そんな落ち着いた本来の御宿町を創造すべく、大地にしっかりと両足を据えて、未来をみすえて頑張つてまいります。
皆様のご協力とご指導を心よりお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成十三年一月

御宿町長

井上 七郎



平成12年 御宿町10大ニュース

- ① 町長選挙及び町議会議員補欠選挙の執行（12月）
- ② 御宿町が、体力づくり国民会議議長賞を受賞（優秀組織表彰）（10月）
- ③ 月の沙漠記念館開館10周年記念事業の実施（10、11月）
- ④ 郡内初の町情報公開条例が制定される（12月）
- ⑤ 行政区として、御宿台区を設置（4月）
- ⑥ 放課後児童クラブのスタート（7月）
- ⑦ 商工会青年部によるパラソルマーケットの実施（7、8月）
- ⑧ 介護保険制度のスタート（4月）
- ⑨ おんじゅく伊勢えび祭りを開催（9、10月）
- ⑩ 国勢調査の実施（10月）

平成十二年度の動き

- 【一月】 消防団出初め式
成人式
- 【二月】 冬期海と山の子交流会
- 【三月】 野沢温泉村と共同で海の幸・山の幸物産フェア
を開催
お魚ウィークス&月の沙漠童謡大会
- 【五月】 消防団統一訓練
- 【六月】 御宿海藻そば等を「ふるさと房総の大物産展」
に出店
- 【七月】 海開き
夏期海と山の子交流会
- 【八月】 ビーチバレームーンカップイン御宿
姉妹都市青年交流
- 【九月】 防火訓練
敬老会
- 【十月】 全日本ライフセービング選手権大会
- 【十一月】 文化祭
中学校社会体験学習
合同七つ子祭
- 【十二月】 イルミネーションの設置
渚の火祭り

